



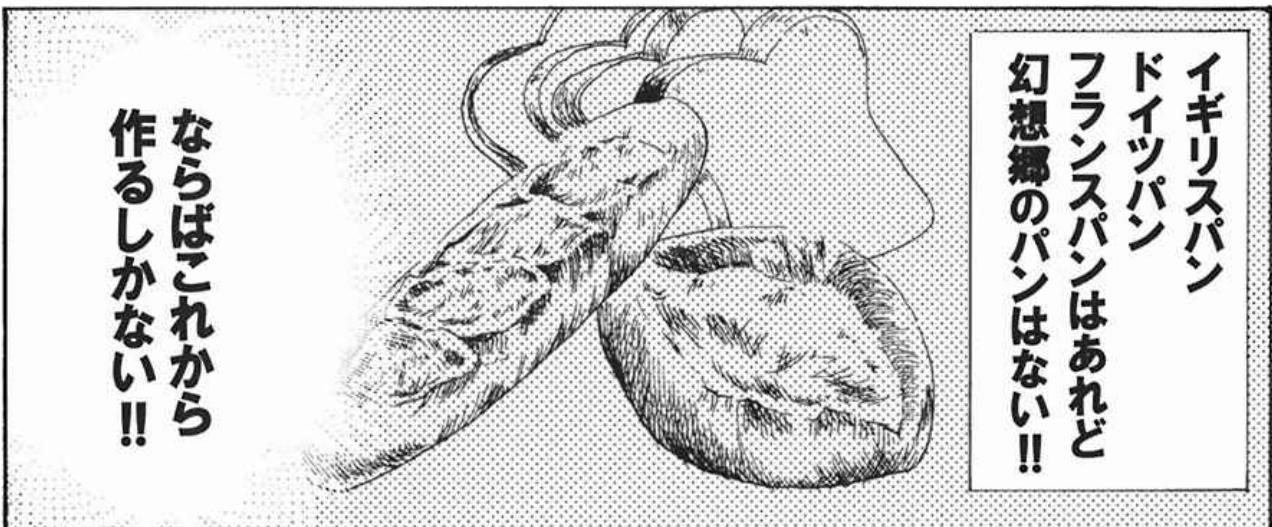
焼きたて!!
もこばん



焼き立て!!
モコロア

この本を読むときは
部屋を明るくして
お茶を飲みながら読んでね
妖夢との約束だよ





今から三年前…

「つちだ妹紅」

おーい慧音
ニカ?

いうっしゃい
妹紅つ

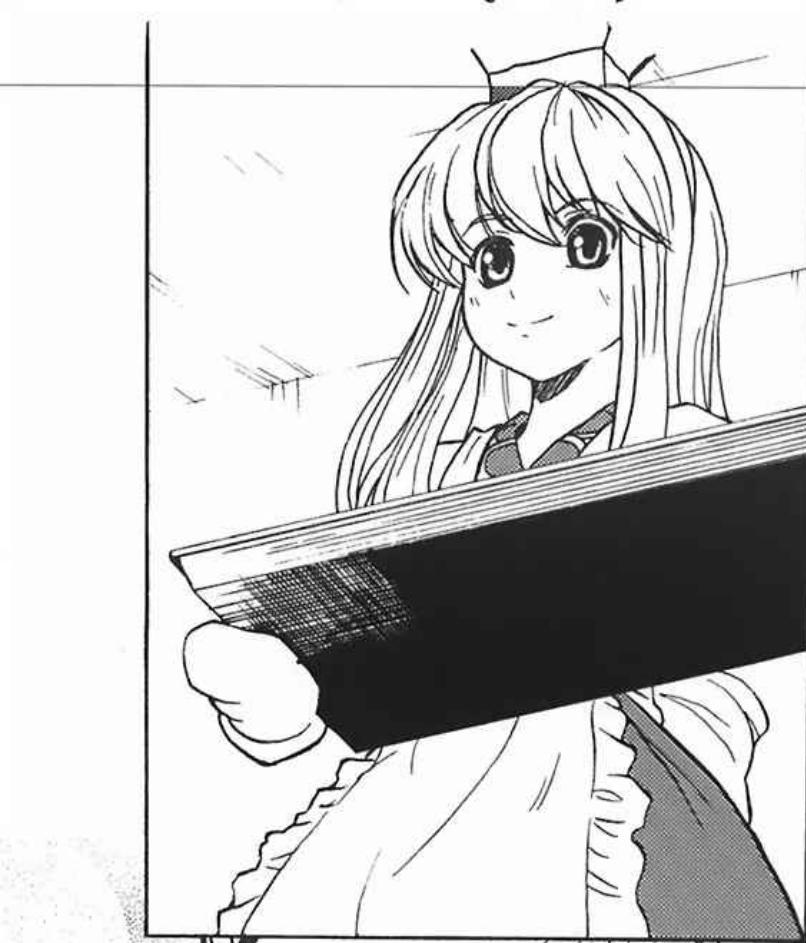
パンを作ってるんだ

これは

何してるんだ?

パンって
紅魔館とかで
見かける……

ナゾの食べ物?



お……おいしい！

なんでこんなに
おいしいんだ？

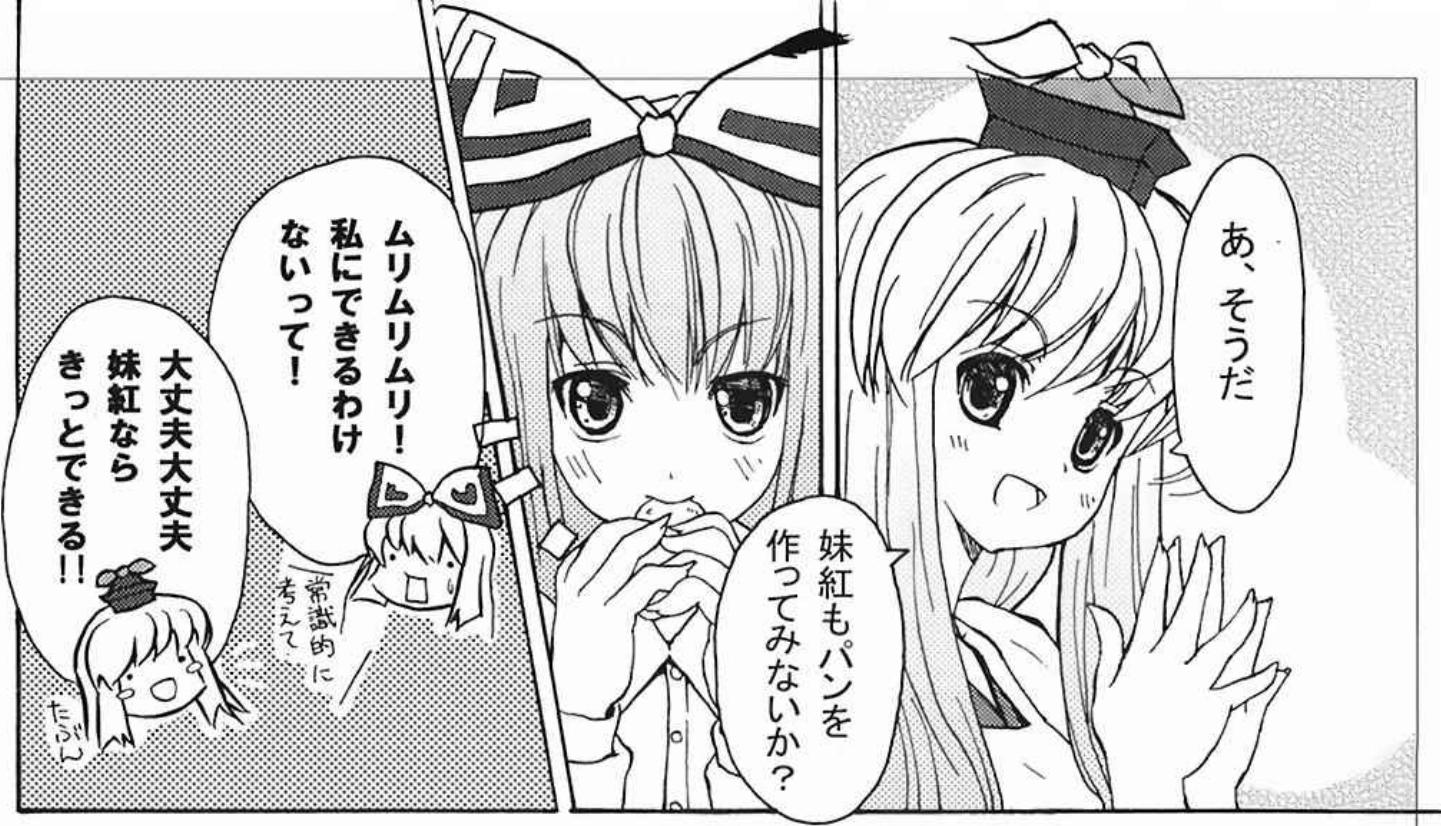
50年前
食べたのは
まさかた

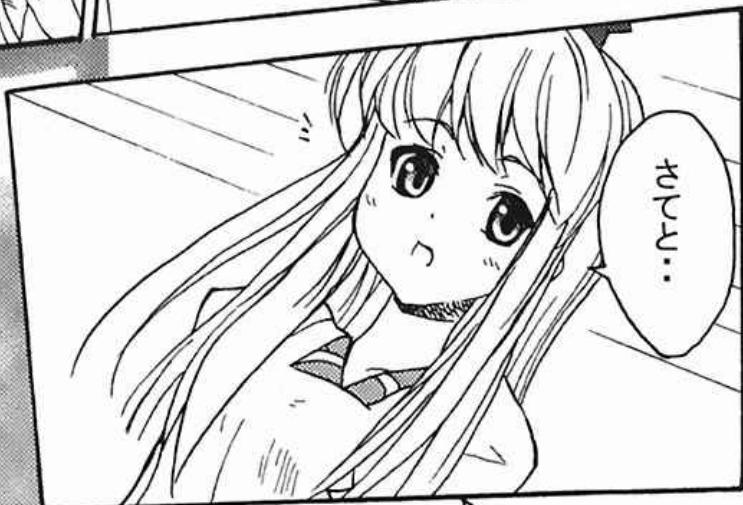
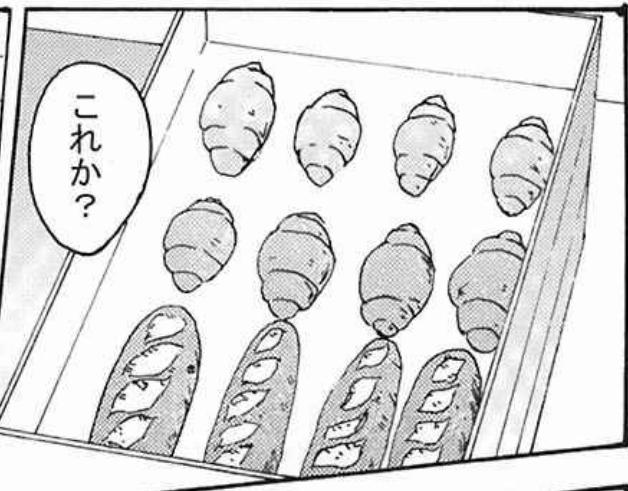
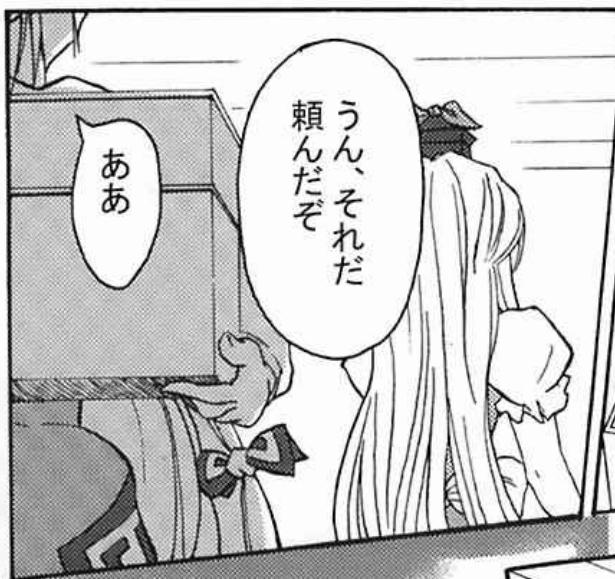
それは
そうさ！

妹紅のために作った
パンなんだからなっ！

私のために…

慧音が…





ここから妹紅の未来は
大きく変わるのであつた!

発酵の速さが尋常じゃない…!

さつきまで妹紅がこねていた…?

そして
月日は流れ…

それでは
第一回紅魔館主催
パン大会本選を始める！

本選の審査は私、
十六夜咲夜と
特別審査員
フランお嬢様で行う

本選の試合は全て
トーナメント形式だ

そして事前に
連絡したとおり
第一回戦の課題は—



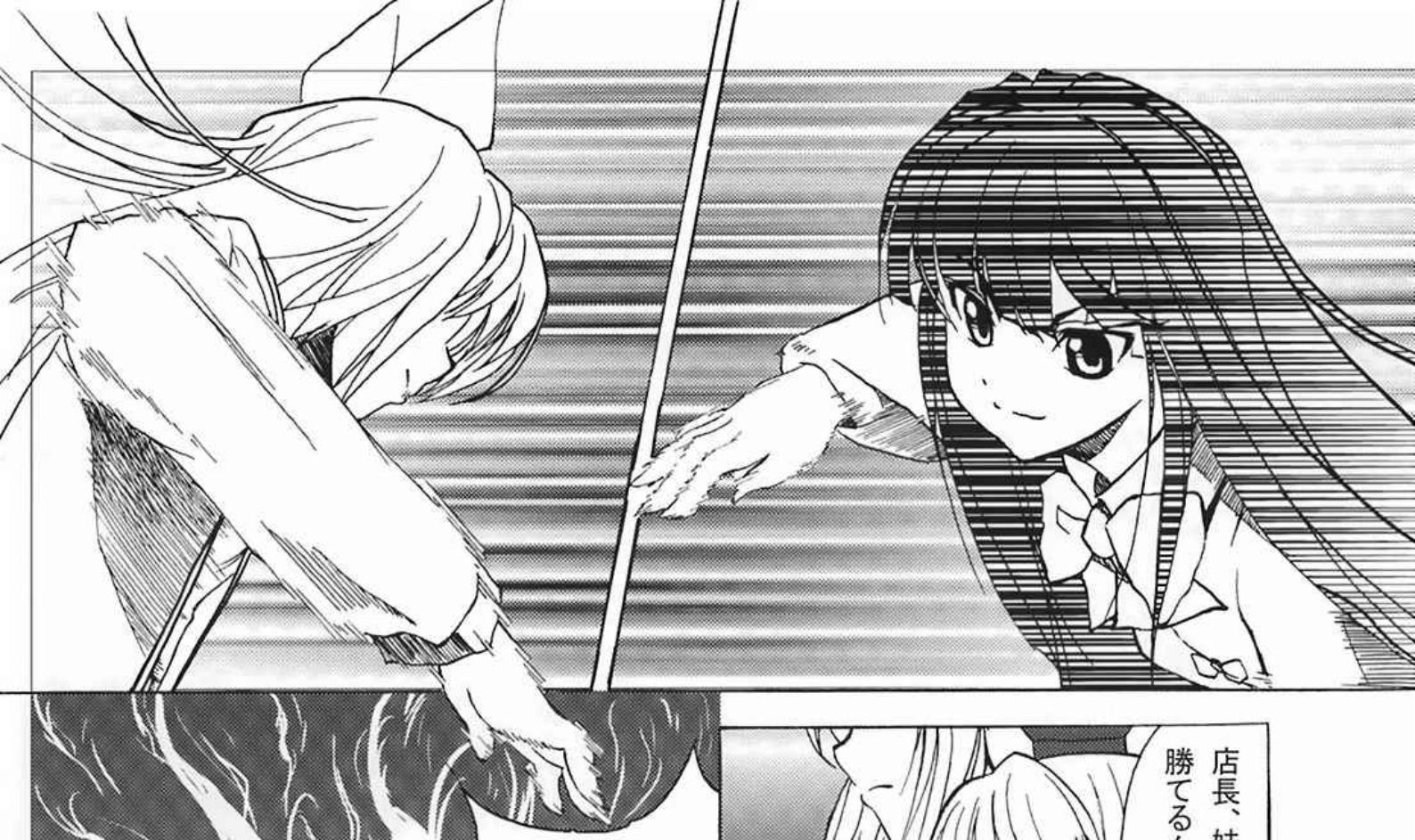
妖怪のための
パンだ!!

各選手は
所定の位置につけ！

まさか一回戦の
相手が
あんたとはなあ：

藤原妹紅!!





店長、妹紅は
勝てるんでしょうか…?



一回戦が
あの輝夜だなんて



安心しろ慧音。
月の民の技術は遙かに
進んでいたとはいえ
今回の課題は
妖怪のためのパン！



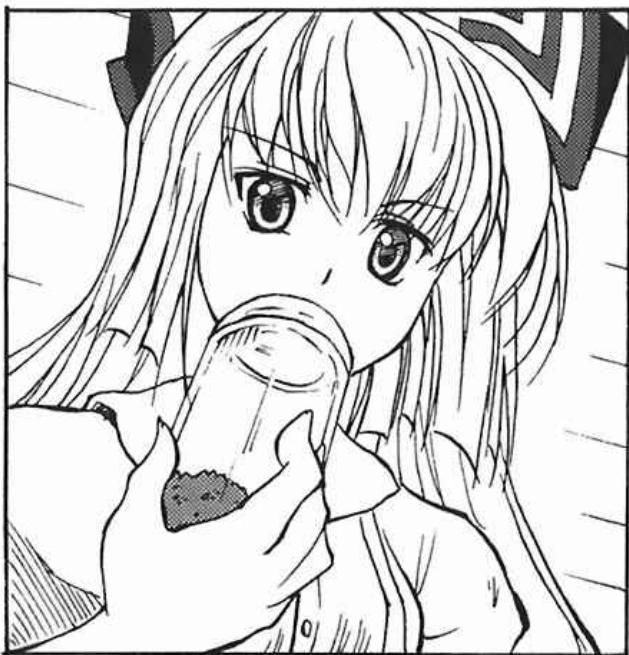
月の民は幻想郷の
妖怪の食文化のこと
良く知らない！



それに奴は
ひきこもり！
NEET!!



パン生地を作るのに完全な
温度を保つ不死鳥の手を
持つ妹紅が
負けるはずがないッ!!



輝夜の酵母の方が

遙かに強い妖力を
放つていいる!!

決まりの勝利は
決まつたも同然!!

その程度の
シロモシなら



妹紅あんたもなんかの
マジックアイテムを
持ってきたようやが

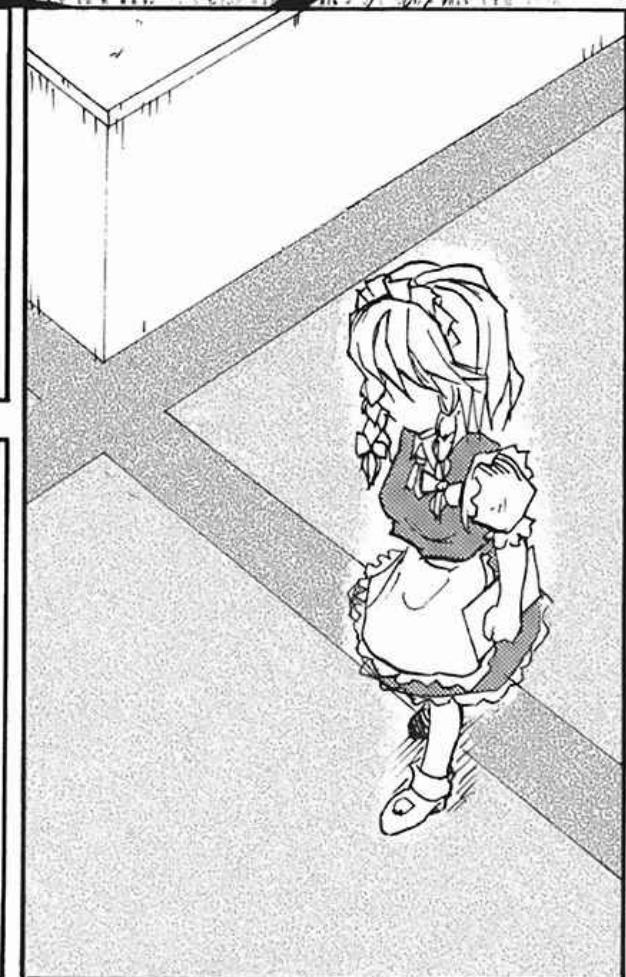
二時間経過

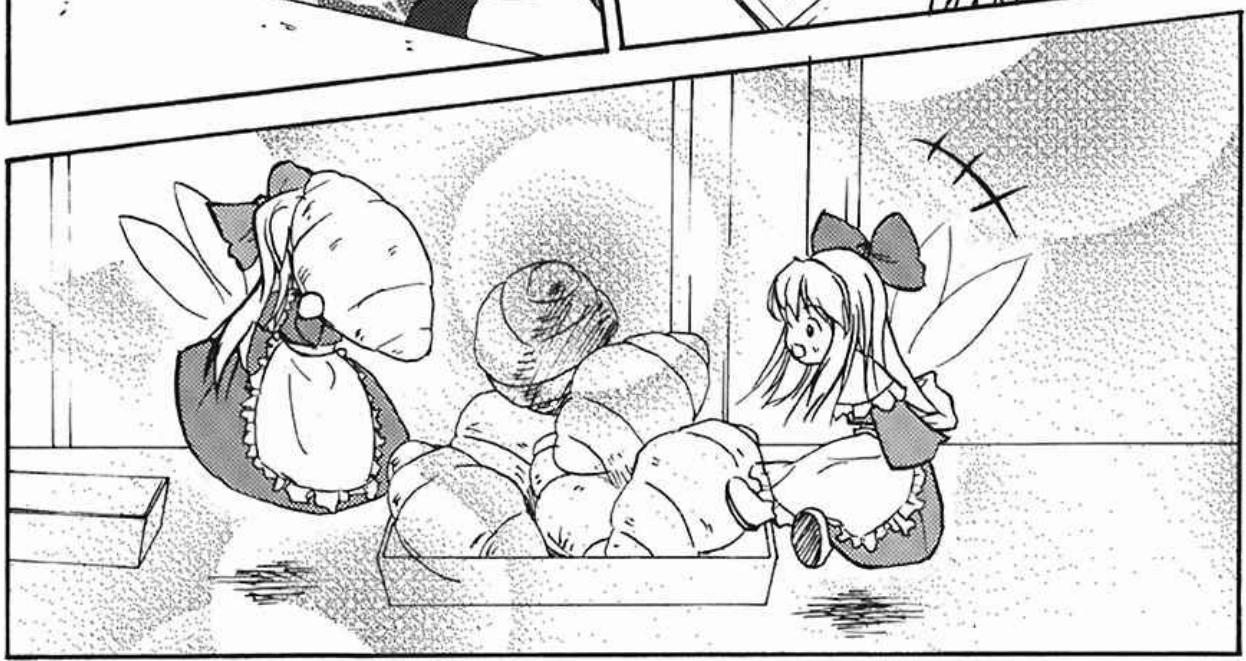
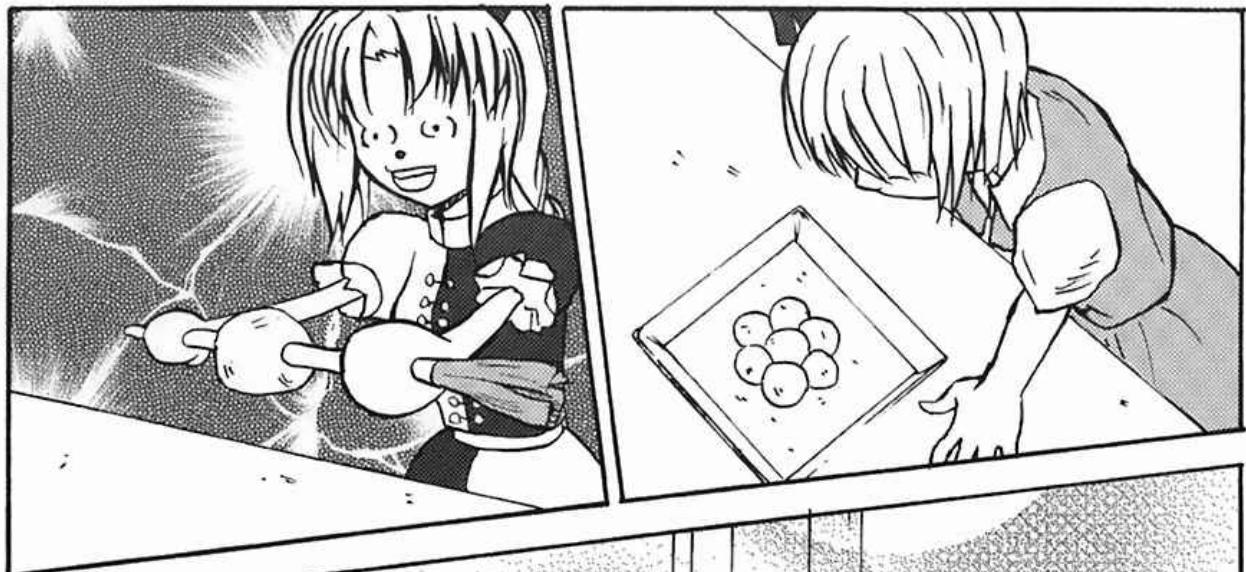


予選通過者は8名
今日これが半数になる



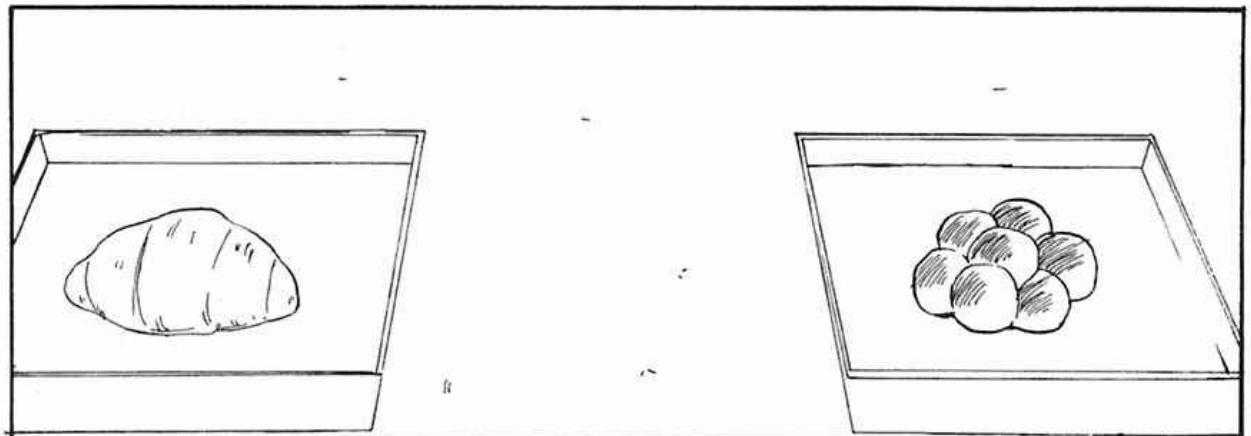
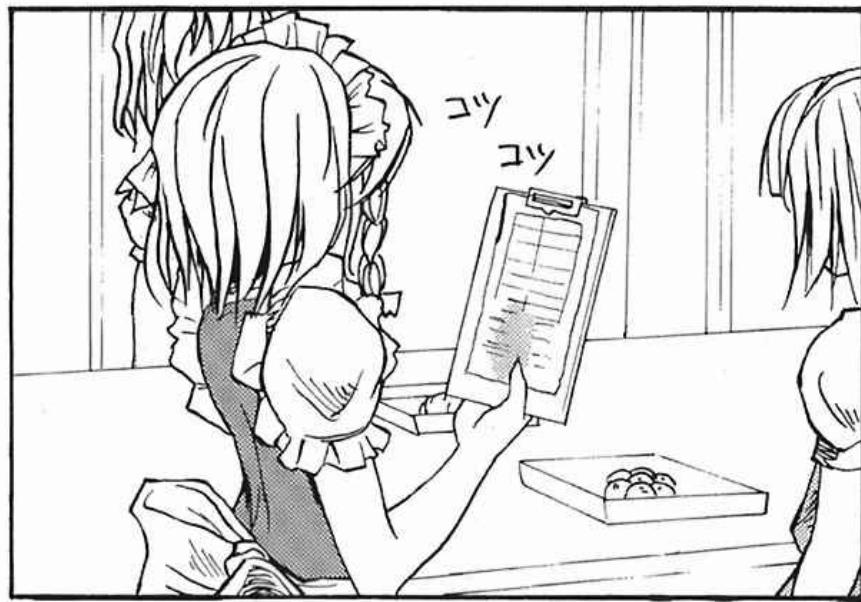
ほとんどが最終形成に
入っているな





全員完成したようだな











だが妹紅のパンは黒い…?
焦げているわけではない
これは試食しなくては

妹紅と輝夜はお互い
クロワッサンになったが
どちらも良い出来だ



少し昔

私が紅魔館を初めて
訪れた時・・・

私は館の主

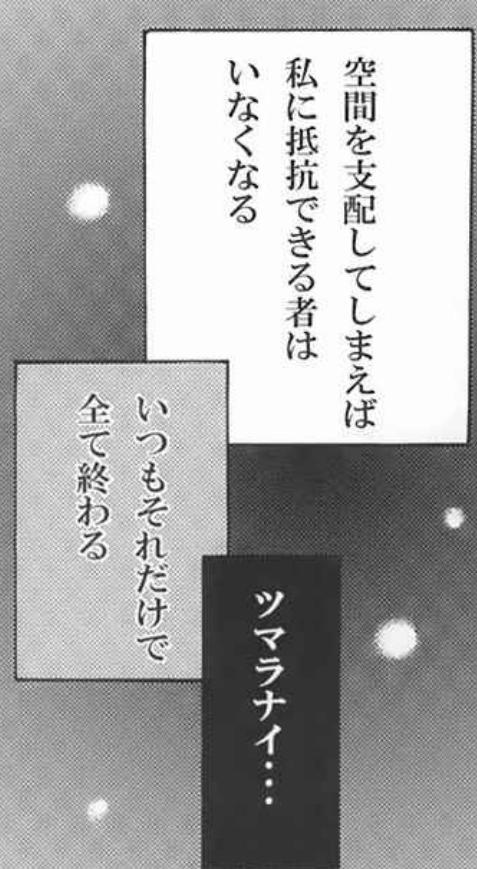
紅い悪魔を殺すために
ここへきた



さア。

始めましょ
う
あなたが
殺される
瞬間を

始めましょ
う
あなたの
最後の運命を・・・





この私があんな妄想をしてしまうとは…
なぜあんな…



な
イ
や
て
!!

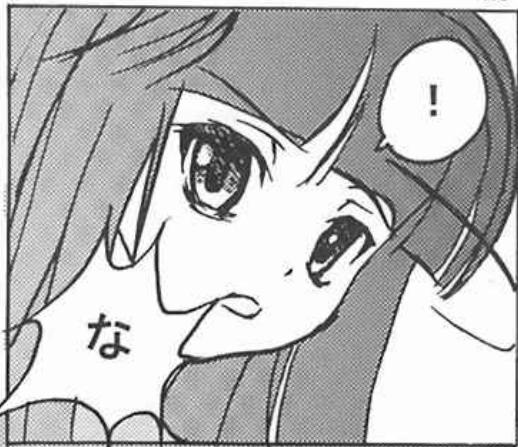


勝者藤原妹紅!!



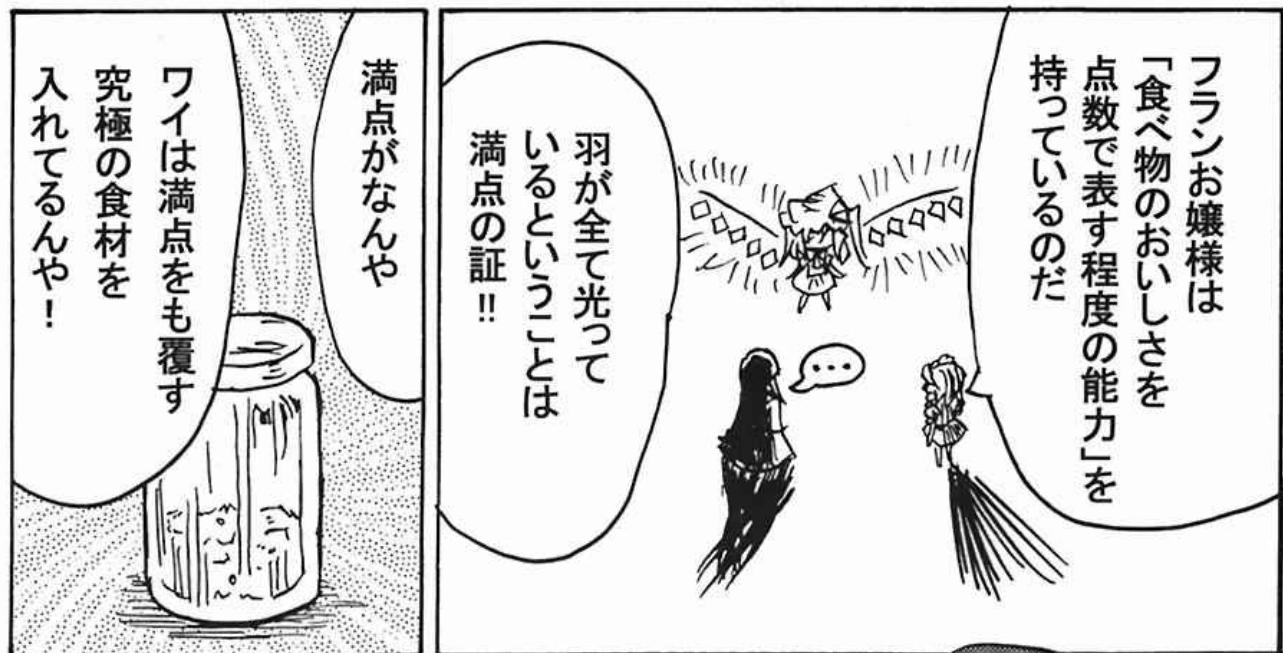


28

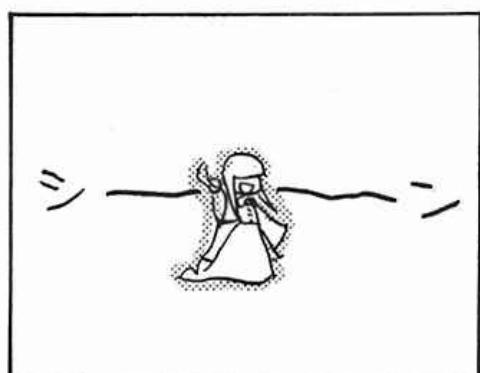


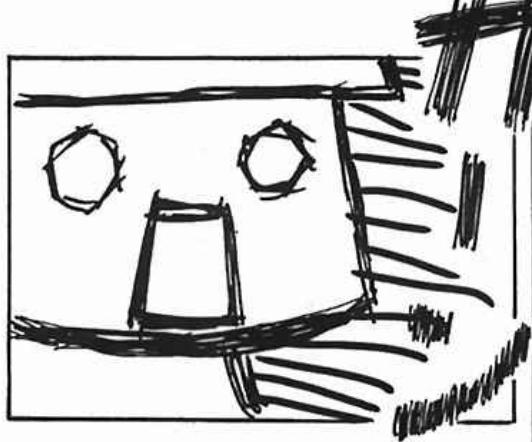
なんか光っとる！？





フランお嬢様は
「食べ物のおいしさを
点数で表す程度の能力」を
持つてゐるのだ





あとがき

この本を手にとってくれた皆さん。
初めまして、そしてありがとうございます。

今回、頼もしい友人達に支えられて初めて一人での
同人誌発行ということになりました。
そんな自分が良く分からず描いた良く分からない
変なお話でしたが、この本を読んで少しでも
ツッコミを入れただくなったりテンションが上がって
もらえたならそれはもう作者は感動してしまいます。

拙い漫画でしたが、またどこかで皆さんの目に付く
機会があることを期待します。

それでは、良い春を。



描いた人：しゃんこう

奥付

著者 しゃんこう（蜜柑の川）
印刷・製本 ねこのしっぽ様
発行日 2007年4月22日

